

一般財団法人天涯文化財団
2024年度(第7期)事業計画書
自2024年11月1日から 至2025年10月31日

1. 事業実施の方針

第7期の事業計画につきましては令和7年7月盛田昭夫塾オープン**5周年**を迎えるにあたり主事業として盛田昭夫塾認知の向上、集客の増加を図る事業を企画、実施してまいります。

インバウンド対応強化や来館者満足度向上を図るため**音声ガイドシステム**を導入します。

資料館所蔵品調査を定期的実施し発表会や鈴溪資料館での展示を通じ広く情報公開してまいります。

今期(第7期)は盛田良子氏没10年にあたり良子氏に関する展示を資料館・塾にて実施します。

Akio Morita Club(AMC)では前期までの配信で昭夫が遺した経営哲学、人間性を浮き彫りにしてきましたが今期はビジネス以外に関わりのあった方々からの声を集めた続編を**AMCプラス**として配信予定です。

「盛田味の館」との共催にて好評の音楽イベント「**テロワール**」は今期中2回の開催を予定しています。現在盛田昭夫関連の情報については盛田昭夫公式サイト/盛田昭夫ライブラリーの2つのウェブサイトで発信しておりますがサーバーの脆弱性対応や最新技術に合わせたデザインでのセキュリティ、ユーザーの利便性向上を図り集客力を高める(SEO対策)ため、今期はこれらを統合大幅リニューアルし情報発信してまいります。引き続き理事・役員の皆様のご支援ご協力何卒よろしく申し上げます。

■今年度重点施策

1. 鈴溪資料館の整備及び古文書等の研究促進と成果発表の実施
(紙倉、新倉調査品の展示・資料調査研究発表会の実施・盛田良子氏に関する資料展示)
2. 盛田昭夫塾運営、イベント企画・展示の充実、集客の促進
(盛田良子氏に関する資料展示・インバウンド対応強化・音楽イベントの開催・HPリニューアル)
3. Akio Morita Club(AMC) プロジェクトの推進
(盛田昭夫から多大な影響を受けた者たちの生の声を集めた映像ライブラリー、昭夫が遺した経営哲学と人間性を浮き彫りにします。続編**AMCプラス**の配信・盛田昭夫AI企画の検討)

2. 事業の実施に関する事項

- (1) 知多半島及び盛田家に由来する古文書、典籍等の研究、研究成果の公開
 - ・盛田家に残された近世初期からの古文書、典籍等を分類・整理し目録を作成する。
(日本福祉大学知多半島総合研究所との協業により実施)
 - ・鈴溪資料館にて古文書、典籍等及びその成果を一般公開する。
(常設展示に加えテーマごとの企画展示を随時開催、年1回愛知県内にて発表会を実施)
 - ・インターネット、SNSを活用し研究成果を世界に発信する。
(国際空港隣接の常滑が海外からの文化・民族研究者が集まる場になることを目的とする)
- (2) 盛田昭夫顕彰事業
 - ・盛田昭夫塾を開館し、盛田昭夫に関する資料の収集、研究を行い、その成果を一般公開する。
 - ・盛田昭夫の残した文書、映像、品々、盛田昭夫に影響を及ぼした人々に関連するセミナー及びワークショップを行う。

(盛田家15代当主に生まれながらソニー創業者となった盛田昭夫の生き様に触れられる「盛田昭夫塾」を開館。見るだけでなく「学べる場所」として未来人のパワースポットとなることを目指す)